

母子草

発行所
水戸市八幡町 11-52
ラーク・ハイツ内
社会福祉法人
茨城県母子寡婦福祉連合会
029 (221) 7505
編集発行者
境 洋子

第518号



県母連は共同募金会の受配団体です。



会長新年のご挨拶

社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 会長 境 洋子

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、すこやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から茨城県母子寡婦福祉連合会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さらに、昨年水戸市に於いて開催いたしました第72回関東地区母子寡婦福祉研修大会におきましては、多大なるご支援、ご協力をいただきまして盛会裏のうちに終了することができました。重ねてお礼申し上げます。

さて、近年ひとり親等の子どもの貧困率の高さが指摘されております。子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、ひとり親家庭の自立に向けた各種支援策を推進していきたいと思っております。

こうした中、国においては、児童扶養手当の2人目以降の支給額が増額され、さらに所得制限の引き上げや支給回数が改善されるなど母子家庭等の支援策が大幅に拡充されました。これも私達母子寡婦福祉団体が長年にわたり行政への地道な要望活動を行った結果であり、改めて母子寡婦福祉団体の大切さを実感いたしました。

一方、各地区の母子寡婦福祉会においては、会員の高齢化や母子家庭等の価値観の多様化等により、会員が減少傾向にあり、組織の弱体化が危惧されております。このようなことから会員の確保に努めるとともに次世代運営にかかる後継者を育成するなど組織の強化に取り組んでまいります。

結びに、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。



知事新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

茨城県母子寡婦福祉連合会の皆様方におかれましては、日頃から、ひとり親家庭や寡婦の皆様方の福祉の向上にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年の始まりにあたり、少子高齢化や第4次産業革命、グローバル化など、日本を取り巻く環境が激変する中で、まさに今、本県は将来を決める大きな歴史の転換点にいるとの思いを強

くしています。

将来に向かって本県をさらに飛躍させるため、昨年策定した県総合計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、果敢に挑戦してまいります。

医師確保をはじめとした県民の命を守る医療・福祉の充実や、人生百年時代を見据えた健康づくり、災害に強い県土づくりなど、県民生活の基本となる安心安全な生活基盤を一層充実してまいります。

あわせて、これからの茨城を創る大切な子どもたちが、得意なものをさらに伸ばし、グロー

バル社会で活躍できるような教育環境の整備に努めるとともに、日本一子どもを産み育てやすい県を目指してまいります。

中でも、母子福祉につきましては、「母子・父子福祉センター」をはじめ、「母子家庭等就業・自立支援センター」などによる就業支援や子育て生活全般に係るきめ細かな相談対応などの取組を推進してまいります。

また、親と子を対象とした高校卒業程度認定試験のための講座受講等に係る給付や、ひとり

親家庭を対象とした親子のふれあいの機会の提供などにも、引き続き、力を入れてまいります。

今後とも、連合会の皆様方とともに、ひとり親家庭や寡婦の方々の自立促進と子どもたちの健やかな成長のため、支援の充実に努めてまいりますので、なお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

茨城県母子寡婦福祉連合会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

県北・県西ブロックだより

クリスマス会

日立市母子寡婦福祉連絡会 黒澤敬子

思えば、母子会の存在を知ったのは、日立市報にあったクリスマス会のお知らせでした。

恐る恐る参加希望の電話をし、行った事のない場所に迷いながらもたどり着き、知り合いもなく、まだ年長だった我が子と二人、とても緊張したのを覚えています。参加してみると、親子で楽しめるような遊びや、他の参加者達とも関わりを持てるような遊びがあり、二人でポツンとする事もなく楽しく過ごす事が出来ました。クリスマス会の終わりには、沢山のプレゼントを受け取り、こんなにも頂いて良いのだろうか大変驚きました。初参加の不安から、ビクビクしていた私でしたが、クリスマス会が終わると、自分から母

子会への入会を希望するほどでした。あれから毎年参加しております。

今年のクリスマス会は、小さい子供達が多く、賑やかで楽しく過ごす事が出来ました。また、小さな子供達を見て、我が子も小さかったと昔を思い出しました。今では、我が子の方から「今年のクリスマス会は？」と話してくる事もあり、私達親子にとって、毎年恒例の、なくてはならない行事になっています。

クリスマス会では、人生の先輩方とのつながりもあり、私も将来、こんな風に明るく元気にいられたらと思わせてくれる存在です。

そして毎年、楽しい企画やプレゼントの準備をしてくださる方々に、大変感謝しております。ありがとうございます。



介護事務講習を受講して

高萩市母子寡婦福祉会 根本智子

私は、母子寡婦福祉連合会の介護事務講習を今回初めて受講しました。

毎週日曜日、全8回の講習ということで、休日が丸1日講習を受けることで潰れると、疲れてしまうのではと心配半分、この機会に資格を取得したいというやる気半分で受講しました。



始めてみると、誰でもそうだと思いますが、やはり休みの日はゆっくり休みたいと思う日もありましたが、なんとか全8回の講習を休まず終了する事ができました。

講師の先生は、ていねいに、わからない事を教えて下さり、福祉センターの職員の方も、何かとめんどろを見て下さったおかげだと思います。本当にありがとうございます。

試験日まで、あと少しですが、合格の報告ができるようにがんばってやりたいと思います。

母子会 今昔物語

北茨城市母子寡婦福祉会 会長 小 林 キヨ子

今年で児童福祉法が成立して七十年になるのでしょうか。

古い記録は残っておりませんが、当時は未亡人という名のもと、少数の会員で発足したと聞かされました。

その後、国に陳情、県に要望し、権利を取得するまでには、並々ならぬ苦労があったことと推察いたします。

母子福祉法が制定されましたが、私たちは、その恩恵を受け、今、振りかえると、運動が実った喜びを生涯忘れることはないでしょう。

当時の母連を築いてこられた先駆者の多くの方々が泉下の人となりました。

諸先輩の皆様にご心より感謝申し上げます。

あれから七十年、日本は高度成長期を迎えすべてが豊かになりました。

福祉行政も充実し、母子寡婦の待遇も見直されてまいりましたが、バブル崩壊後、先の見えぬ不況の中で、母がいかに、わが子を健

やかに育てるかと思ひ悩む際、行政からの援助に頼まざるを得ないのが現状です。

児童福祉手当も高校を卒業するまで支給されており、大変ありがたく思っております。

常日頃、家庭において母親が多忙のあまり、親子の触れ合いが希薄になっている対策として、「親子すこやか交流事業」を実施し、母子促進事業として助成を頂いていること、大変頭の下がる思いでございます。

年一回の宿泊研修活動も若年母子の楽しみの一つになっております。

私たち母子会においても、近年、母子で入会したが、子が巣立ち、寡婦となる会員の数が多くなってきている現状ですが、これからも、私たちの置かれている立場を会員一人一人がよく認識したうえで、「和を以て尊しとなす」の精神で、立場の弱い若年母子の入会を促進し、魅力ある母子寡婦福祉会を目指し、努力してまいり所存です。

母子会活動に参加して

常総市母子寡婦福祉会 堀 越 真由美

季節ごとの楽しいイベントの開催をありがとうございます。

先月、親子クリスマス会がありました。子どもたちは「ビンゴ大会あるかなあ」「ケーキは、どんなふうにデコレーションしようかなあ」と、カレンダーを見ながら、当日をとても楽しみにしていました。当日は、いろいろなゲームに、積極的に参加していて、昨年と楽しみ方が変わったなあ…と、子どもたちの成長を感じました。ビンゴ大会でGETしたプレゼントは、それぞれ自分で選んだからこそ、今も大切にに使わせていただいています。そのプレゼントを見るたび、使うたびに親子クリスマス会のことを思い出し、みんなで話しています。「ケーキ作り」も、何かのイベントのときには「自分たちでケーキを作

る!!」と、わが家の定番になりました。

お昼ごはんには、温かい具だくさんの豚汁を寡婦の会の方々が作ってくださり、お寿司といっしょにいただきました。なかなかお話をする機会がない会員の方と、楽しく会話ができ、貴重な時間を過ごすことができました。

母として、女性として、大先輩の方々とも、お話ができ、いつも温かく励ましのお言葉をかけてくださるので、心が軽くなり「また頑張ろう!!」と自然と、笑顔になります。毎年ありがとうございます。また今年も楽しみにしています。よろしくお願い致します。



研修旅行について

桜川市母子寡婦福祉会 会長 近藤 利美

桜川市母子寡婦福祉会では、日帰り研修会と一泊研修会を毎年交代で行っております。

今年は、一泊の年にあたり、春から役員会を開き計画を立ててきました。

一日目の研修先は、福島県猪苗代湖畔の天鏡閣です。広い庭にルネサンス風の洋館が建っています。建物の中も皇族の別邸とのことで、各部屋の気品ある調度品、シャンデリアアメントルピースなどを見て歩き明治時代にタイムスリップしたような気持ちにさせられました。

二日目は、会津藩主松平家の墓所である土津神社を参拝し、少し色づきはじめた紅葉を



見ながらあとにしました。

二日間の研修旅行は和気あいあいとみんなでおしゃべりをしながら無事帰って来ることが出来ました。

私たちの会には、母子の入会者はなく、寡婦だけの会です。全体的に高年齢で会員数も年々減ってきている状態です。

今は、自分たちにできる範囲で、活動していきたいと思います。

入会にして成長しました

境町母子寡婦福祉会 会計 岡野 裕子

私が、境町母子寡婦会に入会したのは、娘が四歳の時、その娘も今年の四月に中学一年生になります。

会に参加した当初は、娘も小さく私のそばを中々離れることが出来ませんでした。参加していく中で、お姉さんやお兄さん達に面倒を見てもらいながら、うどん作りや、さつま芋掘り等の体験をすることが出来ました。最近では、東京ディズニーランドやディズニーシーなどの日帰り旅行に楽しく参加し、沢山のお友達が出来ました。

私は、会に参加することで普段なかなか連れて行くことが出来ない場所やブルーベリー狩り、ソーセージ作りなど親子で体験することが出来、毎年、親子で楽しみにしている行

事の一つです。

そして、行事に参加する中で、沢山の人に出会うことが出来ました。子育ての中での悩みや不安など人それぞれですが、会員の皆と話している中で、アドバイスを頂いたり、明日から頑張ろうと勇気を頂いています。

最後に、一人親で不安になったり、悩んでいる人がいれば、話を聞いて寄り添い、少しでも力になれるような存在になりたいです。



お知らせ広場

人生を前向きに

龍ヶ崎市 佐藤 マユミ

私の市には母子会はないが、広報誌をみて自立促進対策事業である介護職員初任者研修、介護事務講座を応募した。

日曜日、ほぼ毎週水戸のセンターまで通い同じ母子家庭の方達と励まし合いながら、酷暑の夏、介護職のスキルを身に付ける講習は大変だったが、楽しい先生方や仲間と協力して修得することができた。精神障害者の通所施設で働く私にとって、福祉の基礎が学べたことは自信にもなり、実際、視覚障害の方の支援では、お弁当の説明をして、どこに何があるかを伝えると「親切にありがとうございます。とても美味しく食べることができました」と言われて嬉しく思った。

また、介護事務の講座では、学生時代に、戻ったように、本を見て、問題をといていく。毎回、脳がフル回転していた。初めて図書館で勉強もした。試験はまだこれからだが、また新たな仲間もできた。

普段、生活をしていると、同じような境遇の方と話すことがなく、今回この講習で、仕事や子育てを同じようにがんばっている仲間がいるということがほんとうに心強く感じた。

そして、17才になる息子に対する、養育費が10年未払いになっていることが、ずっと心に引っかかっていた。母子父子福祉センターで実施している、特別相談で弁護士の先生に事情を話した。先生はとてとてもいねいに、優しくいろいろなお話しをしてくれ、私の背中を押してくれた。

このセンターに来て、私は、人生を前向きに考え生きていこうと思うことができた。

母子家庭等自立促進対策事業 講習種目「介護職員初任者研修」

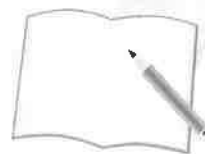
- 日 程** 6月9日から10月6日のみ 14日間
※修了試験有り
- 会 場** ラーク・ハイツ会議室（水戸市八幡町 11-52）
- 受 講 料** 無料
- テキスト代** 6,000円
- 対 象 者** ひとり親家庭の父・母、寡婦
- 託 児** 有（2歳児以上）※市町村役場福祉担当課にて事前登録が必要
- 問 合 せ 先** 母子・父子福祉センター ☎029-221-8497

特別相談事業（年間）

親権や養育費、相続や慰謝料などで悩んでいる方
一度弁護士に相談してみたいはいかがですか？専門の弁護士が無料でお答えします。

会社や、事業を経営している方
経営状態は如何ですか？専門のコンサルタントが無料でお答えします。

母子・父子福祉センターで実施している特別相談事業は、
ひとり親家庭の皆さんが安定した生活がおくれるよう無料で専門員をご紹介します。



平成 31 年度県母連主要行事予定

月	主な事業等	月	主な事業等	月	主な事業等
4	○辞令交付式 (4/1) ○夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金」未定	5	○監事監査 ○理事会 ○観劇 ○高等職業訓練促進資金貸付金 (就職準備金申請受付) 未定	6	○評議員会 ○第 519 号母子草発行 ○介護職員初任者研修 (6/9～10/6)
7	○理事会及び表彰審査会 ○高等職業訓練促進資金貸付金 (入学準備金申請受付) 未定	8	○第 69 回茨城県母子寡婦福祉大会 (8/30 県民文化センター)	9	○親子すこやか宿泊研修 (大洗こどもの城)
10	○全国母子寡婦福祉研修大会 関東地区母子寡婦福祉研修大会 (10/26～27 川崎市) ○第 520 号母子草発行 ○若年母子家庭セミナー (10/20 県南・県西)	11	○理事会 ○若年母子家庭セミナー (11/3 県央・県北・鹿行) ○介護事務講座 (11/10～1/19)	12	○観劇
1	○新年懇談会 ○第 521 号母子草発行	2	○市町村母子寡婦福祉指導者等研修会 ○県母子部長等会議	3	○全国母子部長研修会 ○全国母子寡婦指導者研修会 ○理事会 ○評議員会



編集後記

- ◇ 「平成」最後の新年を迎えました。とある世論調査によると、平成は「激動の時代」と言われているようです。
思えば、阪神淡路大震災から東日本大震災などの自然災害や国民を震撼させた地下鉄サリン事件などもありました。
- ◇ 新しい時代には、東京オリンピック・パラリンピック、大阪万国博覧会など世界的大イベントが待っています。素晴らしき良き時代のスタートができることを祈念したいものです。(事務局長)

母子会加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。
あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

お問い合わせ (社福)茨城県母子寡婦福祉連合会 TEL029-221-7505